



# 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月11日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8006 URL <https://www.yuasa-funashoku.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 共之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石橋 宏 TEL 047-433-1212  
半期報告書提出予定日 2025年11月14日  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日～2025年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	62,555	2.4	1,640	32.2	1,902	29.1	1,287	27.9
2025年3月期中間期	61,079	2.0	1,241	61.4	1,474	53.1	1,006	46.3

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 2,311百万円 (925.5%) 2025年3月期中間期 225百万円 (92.7%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	72.91	
2025年3月期中間期	57.00	

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	66,754	41,105	60.9	2,303.06
2025年3月期	64,314	39,310	60.5	2,203.05

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 40,678百万円 2025年3月期 38,885百万円

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期				120.00	120.00
2026年3月期					
2026年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、2026年3月期(予想)については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合、2026年3月期(予想)の期末配当金は120円00銭、年間配当金合計は120円00銭となります。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	1.6	2,800	2.5	3,200	2.7	2,200	7.3	124.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行ったため、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は498円49銭となります。

## 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	19,590,892 株	2025年3月期	19,590,892 株
期末自己株式数	2026年3月期中間期	1,928,264 株	2025年3月期	1,940,224 株
期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	17,653,396 株	2025年3月期中間期	17,651,228 株

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
3. 補足情報 .....	10
(1) 販売の状況 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における日本経済は、雇用や所得環境の改善、堅調なインバウンド需要等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移した一方で、米国の通商政策をはじめとした不安定な国際情勢による世界経済の減速リスク、長期化する物価高騰、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

食品流通業界におきましては、原材料や輸送コスト、人件費高騰に伴う家庭用商品の値上げにより消費者マインドが弱含みで推移するなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

ビジネスホテル業界におきましては、ビジネスやレジャー客及び訪日外国人の宿泊が順調に推移しましたが、依然として人手不足が大きな懸念材料となっているとともに、燃料費や物価高騰により利益が圧迫され厳しい環境となりました。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き、地域に密着した営業を展開するとともに、商事部門では物流の効率化、ホテル部門ではお客様が快適に過ごせるサービスの提供に努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は625億55百万円（前年同中間期比2.4%増）、営業利益は16億40百万円（前年同中間期比32.2%増）、経常利益は19億2百万円（前年同中間期比29.1%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は12億87百万円（前年同中間期比27.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①商事部門

商事部門につきましては、物価高騰による消費者の節約志向が継続するなか、企業間競争の激化、物流コストの上昇等、依然として厳しい事業環境となりました。

このようななかで、商品供給を的確に行うとともに、新規取引の獲得、新商材の提案などを積極的に行ってまいりました。

売上高の内訳は、食品では、加工食品、酒類、冷凍・チルド商品が低調に推移し減収となりました。業務用商品では、燃料の販売数量が減少したものの、小麦粉並びに澱粉の販売数量の増加、油脂の販売単価の上昇及び業務用食材が順調に推移し増収となりました。飼料・畜産では、飼料は養鶏の生産者向け販売数量が減少したことに加え販売単価が低下し減収となりました。畜産は枝肉及び正肉の単価が低下したものの正肉の販売数量が増加し前年並みとなりました。米穀では、精米、玄米共に販売単価が上昇し増収となりました。

その結果、商事部門の売上高は606億48百万円（前年同中間期比2.2%増）、営業利益は12億43百万円（前年同中間期比33.2%増）となりました。

#### ②ホテル部門

ホテル部門につきましては、各種イベントやスポーツ大会及び企業研修等の宿泊を取り込むことができた事に加え、インバウンド需要も順調に増加しており、稼働率が上昇し増収となりました。

その結果、ホテル部門の売上高は17億74百万円（前年同中間期比11.9%増）、営業利益は6億68百万円（前年同中間期比24.3%増）となりました。

#### ③不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入による売上高は1億32百万円（前年同中間期比3.4%減）、営業利益は1億32百万円（前年同中間期比0.2%増）となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ24億40百万円増加し667億54百万円となりました。主な内容は、原材料及び貯蔵品の増加6億92百万円、投資有価証券の増加15億48百万円などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ6億44百万円増加し256億49百万円となりました。主な内容は、未払法人税等の増加2億45百万円、繰延税金負債の増加4億67百万円などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17億95百万円増加し411億5百万円となりました。主な内容は、利益剰余金の増加7億57百万円、その他有価証券評価差額金の増加10億46百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは11億18百万円 (前年同中間期比9億88百万円の収入増) となりました。これは主に税金等調整前中間純利益18億97百万円、減価償却費2億43百万円、受取利息及び受取配当金△2億11百万円、棚卸資産の増減額△6億41百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは△4億52百万円 (前年同中間期比4億13百万円の収入増) となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△2億32百万円、無形固定資産の取得による支出△1億52百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△6億3百万円 (前年同中間期比1億44百万円の収入減) となりました。これは主に短期借入金の純増減額△68百万円、配当金の支払額△5億29百万円などによるものです。

これらの結果、当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物の中間期末残高は前連結会計年度末から62百万円増加し106億44百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,627	10,690
受取手形及び売掛金	15,972	16,083
商品及び製品	1,887	1,830
仕掛品	40	46
原材料及び貯蔵品	1,034	1,727
未収入金	3,693	3,645
その他	64	204
貸倒引当金	△5	△9
流動資産合計	33,314	34,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,476	13,375
減価償却累計額	△8,744	△8,758
建物及び構築物 (純額)	4,731	4,616
機械装置及び運搬具	1,913	1,914
減価償却累計額	△1,638	△1,670
機械装置及び運搬具 (純額)	275	244
土地	11,064	11,064
建設仮勘定	286	336
その他	1,517	1,521
減価償却累計額	△1,307	△1,318
その他 (純額)	210	203
有形固定資産合計	16,568	16,465
無形固定資産		
ソフトウェア	119	146
その他	213	320
無形固定資産合計	332	466
投資その他の資産		
投資有価証券	11,927	13,475
長期貸付金	149	140
差入保証金	1,924	1,905
繰延税金資産	26	8
その他	210	212
貸倒引当金	△139	△138
投資その他の資産合計	14,099	15,603
固定資産合計	31,000	32,536
資産合計	64,314	66,754

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,280	18,406
短期借入金	2,023	1,969
未払法人税等	415	661
賞与引当金	66	74
その他	1,842	1,719
流動負債合計	22,628	22,830
固定負債		
長期借入金	30	43
繰延税金負債	1,765	2,232
役員退職慰労引当金	15	16
退職給付に係る負債	363	336
その他	201	189
固定負債合計	2,375	2,818
負債合計	25,004	25,649
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,588	5,595
利益剰余金	23,636	24,394
自己株式	△1,156	△1,149
株主資本合計	33,668	34,440
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,058	6,104
退職給付に係る調整累計額	158	133
その他の包括利益累計額合計	5,216	6,237
非支配株主持分	424	427
純資産合計	39,310	41,105
負債純資産合計	64,314	66,754

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	61,079	62,555
売上原価	56,464	57,278
売上総利益	4,615	5,277
販売費及び一般管理費	3,374	3,637
営業利益	1,241	1,640
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	166	202
持分法による投資利益	-	19
その他	68	46
営業外収益合計	243	277
営業外費用		
支払利息	7	12
その他	1	2
営業外費用合計	9	14
経常利益	1,474	1,902
特別損失		
固定資産処分損	1	5
特別損失合計	1	5
税金等調整前中間純利益	1,472	1,897
法人税、住民税及び事業税	434	590
法人税等調整額	27	17
法人税等合計	461	607
中間純利益	1,011	1,290
非支配株主に帰属する中間純利益	4	3
親会社株主に帰属する中間純利益	1,006	1,287



## (中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,011	1,290
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	1,046
退職給付に係る調整額	△23	△25
その他の包括利益合計	△785	1,021
中間包括利益	225	2,311
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	221	2,308
非支配株主に係る中間包括利益	3	3

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,472	1,897
減価償却費	216	243
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	7
持分法による投資損益 (△は益)	2	△19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1	△62
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	1
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	3
受取利息及び受取配当金	△174	△211
支払利息	7	12
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1	5
売上債権の増減額 (△は増加)	1,051	△111
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△192	△641
その他の資産の増減額 (△は増加)	109	△180
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,156	125
その他の負債の増減額 (△は減少)	△96	68
その他	△309	126
小計	940	1,264
利息及び配当金の受取額	171	209
利息の支払額	△8	△12
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△974	△342
営業活動によるキャッシュ・フロー	129	1,118
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△966	△232
有形固定資産の除却による支出	△1	△73
無形固定資産の取得による支出	△5	△152
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の償還による収入	100	—
貸付金の回収による収入	9	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△866	△452
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△68
長期借入れによる収入	50	50
長期借入金の返済による支出	△8	△23
配当金の支払額	△441	△529
その他	△39	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459	△603
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,195	62
現金及び現金同等物の期首残高	11,981	10,581
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,785	10,644

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## I 前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商事部門	ホテル部門	不動産部門			
売上高						
外部顧客への売上高	59,356	1,586	136	61,079	—	61,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	0	26	43	△43	—
計	59,373	1,586	162	61,123	△43	61,079
セグメント利益	933	537	132	1,603	△362	1,241

(注) 1. セグメント利益の調整額△362百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△359百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商事部門	ホテル部門	不動産部門			
売上高						
外部顧客への売上高	60,648	1,774	132	62,555	—	62,555
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	0	37	58	△58	—
計	60,668	1,775	169	62,613	△58	62,555
セグメント利益	1,243	668	132	2,044	△404	1,640

(注) 1. セグメント利益の調整額△404百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△397百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業的前提に関する注記）

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 販売の状況

（単位：百万円、％）

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (2024年4月1日から 2024年9月30日まで)	当中間連結会計期間 (2025年4月1日から 2025年9月30日まで)	前年同中間期比
食品（酒類・低温・砂糖含む）	37,362	36,462	97.6
業務用商品	10,101	10,720	106.1
米穀	4,371	6,533	149.5
飼料・畜産	7,520	6,932	92.2
商事部門計	59,356	60,648	102.2
ホテル部門	1,586	1,774	111.9
不動産部門	136	132	96.6
合計	61,079	62,555	102.4